

■令和8年度 全国学力・学習状況調査結果

4月23日(木)・24日(金)・28日(火)に3年生を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果を受け、本校3年生の国語、数学、英語、質問紙の調査結果をまとめました。

全国平均と比較し、全体の傾向と本校の課題、差異が大きい、肯定的な回答が多いまたは少ないなど、本校の生徒の特徴的な結果に注目し、改善の方向について検討するとともに、今後の栄中学校の教育活動に生かしていきたいと考えております。

なお、文部科学省、北海道教育委員会、札幌市教育委員会としての調査結果につきましては、それぞれのホームページで閲覧することができます。

【生徒質問調査】

生活習慣や学習環境等に関する調査の結果概要及び改善の方向性について

1. 生活習慣に関わること

回答項目	本校の割合	全国平均
朝食を毎日食べている	87.3%	90.9%
毎日、同じくらいの時刻に寝ている	78.1%	80.5%
家族と学校の勉強について週1回以上話している	79.3%	72.2%

家庭で勉強について話す機会は全国より多く、家庭での対話があることは本校の強みです。一方、朝食や就寝時刻に関する回答は全国をやや下回りました。家庭での対話を生かしながら、毎日の生活リズムを整えることを大切にしていきます。学校でも生活習慣を振り返る機会を設けますので、ご家庭でも、就寝時刻や朝食について、お子様と確認していただければ幸いです。

2. 生徒自身に関わること

回答項目	本校の割合	全国平均
自分には、よいところがあると思う	87.3%	84.0%
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う	98.8%	95.1%
学校に行くのは楽しいと思う	89.6%	85.4%
将来の夢や目標をもっている	62.0%	67.6%
学級での話し合いを生かし、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる	70.7%	77.8%

自分のよさを認め、学校生活を楽しいと感じている生徒の割合は全国を上回りました。一方、目標を持つことや話し合いを自分自身の行動につなげることに課題が見られます。今後も一人一人のよさや努力を具体的に伝えるとともに、身近な生活や学習の目標を決め、実践して振り返る経験を充実させ、自分で考えて行動する力を育てていきます。

3. 学習に関わること

回答項目	本校の割合	全国平均
平日に、学校の授業時間以外では全く勉強していない	11.5%	6.9%
授業で学んだことを、次の学習や実生活に結び付けて考えたり、生かしたりすることができると思う	69.0%	78.0%
学習した内容の分かった点やよく分からなかった点を見直し、次の学習につなげている	71.8%	79.0%

家庭学習に取り組めていない生徒への支援に加え、学んだことを活用し、振り返りを次の学習につなげることに課題が見られます。今後は、取り組む内容や目標を具体的に示して家庭学習を支援するとともに、既習内容を生かして考える課題や、次に取り組むことを明確にする振り返りを充実させます。

【国語】

本校の概要	課題	改善の方向
【領域】 ☐ 「言葉の特徴や使い方」 ・全国平均を下回っている。 ☐ 「情報の扱い方」 ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。 ☐ 「書くこと」 ・全国平均を上回っている。	●文章に即して漢字を正しく書く。 ●意見と根拠など、情報と情報の関係を理解する。 ●目的に応じて、文章の構成を考えて書く。	○毎授業の漢字練習と、同一範囲の再確認を行います。 ○筆者の主張と根拠を関連付けて読む活動を充実させます。 ○月末課題などを通じて、書くことに対する苦手意識を減らし、慣れるようにしていきます。

【数学】

本校の概要	課題	改善の方向
【領域】 ☐ 「図形」 ・全国平均を上回っている。 ☐ 「関数」 ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。 ☐ 「データの活用」 ・全国平均とほぼ同程度である。	●図形から証明に必要な根拠を見つけ出し、証明する。 ●関数の関係を表す表の特徴を捉え、そこから式やグラフにする。 ●データの傾向を的確に捉え、判断の理由を根拠を基に説明する。	○根拠を明確にしたうえで言葉で説明する活動を充実させる。 ○表・式・グラフを関連付けながら考える問題の練習を充実させる。 ○データを収集・整理し、多面的に説明する活動を充実させる。

【英語】

課題	改善の方向
●日常的な話題について、話を聞き、概要を捉えること。 ●日常的な話題について、目的に応じて必要な情報を読み取ること。 ●日常的な話題について、事実や自分の考えや気持ちなどを整理し、まとまりのある文章を書くこと。	○写真やキーワードなどを手掛かりに話の内容を予想させ、聞く目的を明確にした上で、音声聞く活動の時間を充実させます。 ○読む目的や必要な情報を明確にした上で、キーワードや既習の知識を活用しながら必要な情報を探す活動の時間を充実させます。 ○事実だけでなく自分の考えや気持ち、その理由などを整理してから英文を書く活動の時間を充実させます。

※英語については、公開問題の領域に偏りがあり、領域ごとに「本校の概要」を分析することは困難だったため、問題ごとの平均正答率を参考にしてその出題の意図から「課題」を捉え、「課題」に対応する「改善の方向」を作成しました。